

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	妊婦健康診査事業	所管	保健福祉部 母子保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	妊婦の疾病や異常を予防・早期発見し、健康の保持・増進を図り、健康管理の向上を図ることを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	妊娠の届出をした市内に住所を有する妊婦の健康診査。	対象とした数	3,028	人
		実際に 利用した数	12,024	件

活動の内容	(何を したか)	妊娠の届出をした者に対し、母子健康手帳の交付時に妊婦健康診査受診票を交付し、委託医療機関において妊婦一般健康診査(前期・後期)、HBs抗原検査、HIV抗体検査、超音波検査を実施する。							
活動実績	項目名	対象者数	3028	項目名	受診者数	2925	項目名	単位	単位
			----- 単位 人			----- 単位 人			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	51,912	49,293	49,293	145.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	受診率	受診者数÷対象者数	3028	2925	96.6
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止			
	予算	* 現状どおり		増額		減額		終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
		拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了	
	予算	現状どおり		増額		減額		終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040800	画	2991-1811
事業コード	妊婦健康診査事業		保健福祉部 母子保健課			
040811			グループ 母子保健グループ			
開始年度		平成 9 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			母子保健法
	関連・類似事業	妊産婦訪問指導事業			
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療
			中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱
	H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 11 位		実施計画における位置づけ... H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	
	事業開始の背景	平成9年度 県から市への母子保健事業の移譲に伴い、実施主体が所沢市になる。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	妊婦の疾病や異常を予防・早期発見し、健康の保持・増進を図り、健康管理の向上を図ることを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	妊産婦の届出をした市内に住所を有する妊婦の健康診査。			妊婦前期・後期各1回の一般健康診査、HBs抗原検査、HIV抗体検査、超音波検査の合計受診者数			
	対象数	単位	平成 18 年度	3,133	人	平成 19 年度	3,028
		平成 19 年度	3,028	人	平成 19 年度	12,161	件
		平成 19 年度	3,028	人	平成 19 年度	12,024	件
	事業の具体的な内容及び実施方法						
	妊婦の届出をした者に対し、母子健康手帳の交付時に妊婦健康診査受診票を交付し、委託医療機関において妊婦一般健康診査(前期・後期)、HBs抗原検査、HIV抗体検査、超音波検査を実施する。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					
	特になし 20年度からは、厚生労働省より妊婦健康診査の公費負担回数について、5回程度の公費負担を実施することが望ましいとの通知があり、妊婦健康診査の回数を5回に増やし、子宮頸がん検査・HCV抗体検査・不規則抗体検査・グルコースの検査を追加した。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		52,629	51,912	129,642
	決算(見込み含む)		51,129	49,293	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (0.25 人) (人) (0.25 人)			
	正規職員人件費	0.74 人	6,808	0.74 人	6,952
	公債費				
	事業費合計		57,937	49,293	
	財源内訳	一般財源	57,158	48,798	129,147
		国・県支出金	779	495	495
		受益者負担金			
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		171.5	145.4		
利用数一単位あたり(単位:円)		4,764.2	4,099.6		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	対象者数	妊娠届出数	人	3133	3028	3100	
		受診者数	妊婦一般健康診査1回目の受診者数	人	2981	2925	3000	
	成果分析	受診率	受診者数÷対象者数	人	目標値 3133	3028		
			%	実績 2981	2925	実績値の拡大を図る1	1	
			%	達成率 95.1	96.6	実績値の縮小を図る2		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要性なし	市	見直しの必要性	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	妊婦の異常の有無を早期に発見できることから受診率は高く、事業の目的は達している。妊婦の異常を早期発見し健康管理の向上を図るため、引き続き当該事業を実施していく必要がある。また、受診率向上のため、引き続き妊婦健診の受診を勧奨していく。				
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	妊婦健診の受診率の向上を図る。また、里帰り出産の妊婦が出産前の健診(5回目)の受診票が使えるよう、県外委託医療機関を増やしていく。	妊婦健診の受診率 98%	平成20年度末		
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	少子化対策等にも関連する本事業の重要性及び達成率から、今後も当該事業の継続が必要である。			
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	母子保健課長 小林 昌治	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
年度事前評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業		
	評価理由	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り		計画コード	1222
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり			
	施策の方向	2母子保健事業の推進			